

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

別添様式2

公表日：令和 2年 3月 31日

事業所名：ホーリービngo

区分	チェック項目	現状評価（実施状況・工夫点等）	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	契約時、室内見学及び体験等行い保護者にも確認頂いている。	他の利用者との関係、放課後の様子を見ていないのでわからない。	十分なスペースを活かし現在、個別のプログラムを行っている。
	2 職員の適切な配置	保育士 1名、指導員 1名、児童発達管理責任者、1名による運営	他の利用者との関係、放課後の様子を見ていないのでわからない。看護師の職員は、配置しないのか。	医ケアの必要な子供たちを視野にいれてほしいというご意見を頂戴しましたが、現在は対応出来ていない、今後の課題としている。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	フローは、全てフラット直線的な構造でわかりやすくなっている。利用者に対しては、マンツールの対応となっている。	子ども達に理解しやすく動きやすい導線になっている、車いす利用している子ども達にも使い易い作りにしてあると思う。	利用者、職員の安全を配慮した動きやすい構造にしてある。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	畳上でリラックスしたり、机上での学習やテーブルゲームを行う、プログラム終了後は清掃を行う。日々の清潔を維持している。	他の利用者との関係放課後の様子を見ていないのでわからないが、子どもが帰宅後表情も穏やかなところを見せるので安心している。	継続
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）への職員の積極的な参画	スタッフミーティングを行い情報共有、実施状況の報告を行う。		情報共有を密度の有るものとする為、ショートミーティングを行っている。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	実施運用は、ありません。		今後の活動において、必要に応じた指導を頂き実施して行く。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	本部指導により課目ごとの研修を実施。		継続
適切な支援の提供	1 子どものニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	面接時の聞き取りや本人の動き学校での活動状況等を参考にし、ニーズに沿った計画作成している。	自宅へは、難しい事もありは、家でも行っているようで子どもからも家庭で話をしてくれるのでありがたい。	継続
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	個人に応じた活動内容と集団活動を取り混ぜプログラムを実施している。	個別活動や集団活動は、子どもたちが楽しめるように配慮があり子供たちが楽しんでいる様子が伺える。	継続
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	個人に応じた活動内容と集団活動を取り混ぜプログラムを具体的に記載し取り組んでいる。	わかりやすく支援内容と具体的な計画をしてきている。	継続
適切な支援の提供（続き）	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	個別支援計画に運動プログラム生活支援等、個人に沿った活動内容の実施となっている。	学校と連携したプログラムを考えてきている。	継続
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	活動プログラムの核になるものをスタッフミーティングで決めている。	利用時の連絡帳やお便り等で楽しんでいるようだが、プログラムの立案はお任せしている。	運動や視覚刺激を目的としたプログラムを立案しているが保護者へのプログラム内容は立案実施に至るまでの説明は難しい児童たちの活動等の記録（連絡帳）や季節ごとの回報で報告する。
	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	学校行事や長期休みに対応している。	事前の出席予定や急遽の予定変更にも対応してくれている。	継続
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	独自のプログラム以外に、外部講師を招き音楽療法を実施している。	音楽療法は、子供もたのしみをしている。	継続
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	毎日、確認事項としてホワイトボード等に表記している。役割などについては、スタッフ間でその都度対応している。		継続
	9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	毎日の記録を記入時振り返りを行い、特に問題が起きた場合、対応や解決の為、情報の共有を行う。		継続
	10 日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	活動記録及び業務日報は、記載している。		継続
	11 定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	年2回のモニタリング及び支援計画を実施。		継続
	1 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へ参画	参加できない場合、情報提供の文書による参加を実施。		参加が難しい場合は、文書での参加を現在行っている。
	2 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	現在、利用者なし。		今後、利用状況に応じ対応する。
	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	現在、利用者なし。		今後、利用状況に応じ対応する。

関係機関との連携	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校（小学部）等との間で支援内容等の十分な情報共有	特別支援学校との交流は取っているが、その他の関係先との交流情報提供はない。		今後の取り組みとして対応していく。
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	現在、利用頂いている方については学校からの実習先への情報共有を行っている。		今後、利用状況に応じ対応する。
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	本部指導による、外部講師を招きカリキュラムを分け実施。		継続
	7	児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会	現在実施していない。	無回答	長期休み等に交流を図りたいと考えている。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	本部指導による、合同開催を行う。	無回答	継続
保護者への説明責任・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	契約時説明を行い理解得る様努め、疑問点についてはその都度答えている。	問合せについては、応えてくれる。	その都度、利用に関する疑問に答えるように保護者へ伝えている。
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	計画更新、変更時には、支援内容の説明を行っている。	説明を受けている。	支援内容については、学校での活動の方向性近いものにして継続的な目標としている。
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	保護者に対して、ペアレント・トレーニングの実施はしていない。	無回答	今後保護者への希望などを考慮し必要に応じて実施していく。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	個別支援計画に盛り込まれ、短時間で無理のないプログラムを提供している。日々の活動などは、連絡帳に記載報告している。	家庭では時間を取りにくいので学校以外でのプログラムは嬉しい。	必要に応じて、送迎時直接伝え連絡帳に記載報告を継続する。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	現在、保護者からの相談事例はない。	無回答	相談等随時対応する。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	開催していない。	無回答	今後時期を見て開催していきたい。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	内容問わず、迅速に対応している。	話しやすい。	継続
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	送迎時や保護者来所時にコミュニケーションを図り相互理解に努めている。	話しやすい。	継続
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	季節ごとの回報や活動状況の情報を発信している。	受け取っている。	継続
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	個人情報保護法に基づき対応している。	無回答	契約時取扱いについて十分な説明をしていく。
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	それぞれマニュアルに基づき職員は対応している。保護者には、契約時に説明している。	無回答	継続
	2	非常災害の発生に備えた、定期的避難、救出その他必要な訓練の実施	年に一度行っている。	無回答	継続
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	年に一度行っている。		継続
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	必要な利用者は、車イスやバギーの転落転倒防止のため、保護者同意のもと行っている。		継続
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	情報提供してもらい適切な対応を行う。		継続
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリハット事例は細かく記載し事例検討し共有をしている。		継続